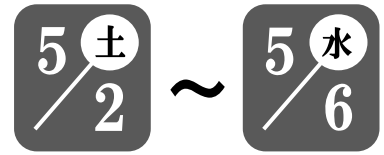




ライバルに  
差をつけよう!



ユリウス

# GW集中講座

新規入会募集中! 入会の方に! コマ無料授業実施!

## GWの日能研休校期間に苦手な単元を克服しよう!!

入試に出やすい!

### GWに克服しておきたい苦手単元ランキング!



#### 第1位 割合 (線分図)

▼ 復習にオススメの単元

テキスト	回数	単元
6年前期	第24回	和・差と図
6年前期	第25回	割合と1あたりの量
6年前期	第26回	文章題における比の活用
6年前期	第27回	濃度の変化

中学受験の中でも最も差がつく科目と言われている算数ですが、その中でも特に重要なのが、「割合」の範囲です。

割合や比とは何かを理解するとともに、線分図を使いこなせるようになることが苦手克服への近道です。

ユリウスでは線分図の書き方や解法を伝えるだけでなく、「なぜ線分図をつかうべきか」という点も踏まえて指導をしています。



#### 第2位 速さ

速さは入試問題の大問に出題されることが多く、基礎から応用まで幅広い理解が求められる単元です。割合同様、「進行グラフをスムーズに書けること」が苦手克服への近道です。

また、「式に単位を残す習慣」をつけることも重要です。

▼ 復習にオススメの単元

テキスト	回数	単元
5年後期	第11回	速さと単位
5年後期	第12回	進行グラフに整理する
5年後期	第13回	旅人算
5年後期	第14回	通過算・時計算



#### 第3位 理科苦手分野全般

理科は苦手な範囲がお子様によって異なり、かつ普段時間を取って学習することが難しいため、「長期休みに是非とも触れておきたい科目」です。

特に、「天体・電流・力学・化学」は苦手とする方も多いため、差がつきやすい単元です。

▼ 復習にオススメの単元 (例: 電流)

テキスト	回数	単元
5年後期	第11回	電流と回路
5年後期	第12回	電流の大きさ
5年後期	第13回	電流と磁界

## ◆ GW集中講座 設置講座一覧

	講座名	科目	コマ数	使用テキスト	講座概要
①	割合と線分図の攻略	算数	全4コマ	6年前期	割合・比・割合を用いた文章題
②	速さの攻略	算数	全4コマ	5年後期	速さの三用法・旅人算・通過算・時計算
③	平面図形の攻略	算数	全5コマ	5年前期・後期	円やおうぎ形の面積・図形の移動
④	天体分野 総復習	理科	全2コマ	6年前期	月・星・太陽
⑤	化学分野 総復習	理科	全2コマ	5年後期	濃度・中和反応
⑥	力学分野 総復習	理科	全3コマ	5年前期	物体の運動・ばね・てこ
⑦	電流 総復習	理科	全3コマ	5年後期	電流の回路・磁界
⑧	オーダーメイドコース	4科目	応相談	応相談	面談実施の上、受講内容を提案します。

○ ユリウスの個別指導は1コマ=90分指導です。

○ 「1:1指導」は「指導者1名⇔生徒1名」、「1:2指導」は「指導者1名⇔生徒2名」の指導です。

## ◆ GW集中講座 費用 <指導1コマ90分あたりの価格(税込)>

GWのみご通室の場合

1:2指導	1:1指導
9,350 円	16,610 円

GW以降定期的に通室の場合、  
通常生価格にて割引いたします!

○ 上記受講料の他、事務手数料(¥5,500)を頂戴します。

○ 費用はコンビニでのお支払いになります。ユリウス本部よりご自宅に払込用紙を郵送いたします。

## ◆ お申込みの方法と受講までの流れ ※4月中の日曜および4/29(水)~5/1(金)は休校です。

- ① お申込 期日: 4/25(土)    ② 面談実施    ③ 受講スタート!

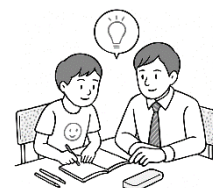
- ・ユリウスにてお申込用紙を提出
- ・ユリウスに直接お電話 or FAX

現在の学習状況を確認の上、指導内容を決定し、今後の学習についての進め方をご提案いたします。

- ・筆記用具/ノート/テキスト
- をご持参のうえ、授業開始時刻までにお越しください。

## 入会者限定特典 ▶ 「ユリウス通常指導練習会」実施

今回の「GW集中講座」は、お子様の苦手な単元を克服するための短期講座です。  
成績向上のためには、毎週の授業に対して、正しく学習を進めることが一番重要です。  
ぜひ週に1回、ユリウスを活用して日能研の復習を効率的に進めていきましょう。



【授業の流れ】(1:2指導 90分) ※ GW期間前後の通常授業の期間での実施となります。

- 1) 前回試験の結果に関して、指導者からコーチングをもとに、重要問題のやり直しを行います。
- 2) 今回のプログラムの栄冠への道がしっかり進められているか確認します。
- 3) 質問対応を行います。ただ答えを教えるのではなく、授業を思い出し、自分で考えることを重視します。
- 4) お子様が見つめていない理解不足の問題を見つけ出し、類題を使って解消していきます。